

# 波力だよ、全員集合！産学公による波力発電関連分野での新産業創出促進事業 (神奈川県平塚市)

## 取組概要

### 地方創生の核として、波力発電の産業化を目指したプロジェクト

- 2016年度、**地方創生加速化交付金・推進交付金を活用**し、東京大学生産技術研究所 林研究室、市内外の企業・団体と共に**波力発電の開発**を進める「**平塚海洋エネルギー研究会**」発足
- 2018年度、東京大学生産技術研究所林研究室を代表とするグループが、**環境省「平成30年度CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業（二次公募）」**に採択され4年間の事業開始
- 2019年度、平塚市と東京大学生産技術研究所の**連携協力協定締結**。平塚新港で**平塚波力発電所の海域実証**が始まる（様々な技術改良、データ取得、PR等を行い、2021年度末に無事終了）。
- 2021年度、**ヤフー株式会社の「地域カーボンニュートラル促進プロジェクト」**に採択され、企業版ふるさと納税で寄附を受ける。平塚海洋エネルギー研究会のメンバー（企業3社、平塚市、個人）の出資により、**波力発電のコンサルティングを行う株式会社e-ウェーブR&D**を設立。

人口257,631人 (R4.1.1現在)

担当 産業振興部 産業振興課



平塚海洋エネルギー研究会



平塚波力発電所と電池推進船「らいちょう」

## 取組の効果

- ① **レバレッジを利かせた投資 費用の約9割は外部資金の獲得**
- ② **ステークホルダーの拡大** 平塚海洋エネルギー研究会は、**新規参入企業が増加**。
- ③ **様々な技術開発の呼び込み** **漁船の電化、藻場の形成（ブルーカーボン）、水中映像モニタリングロボット、可搬型双胴式無人艇など、波力発電と組合せやすい技術の開発・実証・商品化**が平塚新港を拠点に進行。**複数の特許出願**。

## 創意・工夫した点

### 人・モノ・金をつなぎ、知的対流を起こす

- 研究会の発足前から、職員がステークホルダーと問題意識や技術情報、ローカル情報などを共有
- 気候変動対策に貢献する技術開発を地方創生のテーマとして位置づけ、様々な資源を動員
- イノベーションのプロセスに職員が当事者として関与**することで、庁内に知識・ノウハウを蓄積

## 他団体へのアドバイス

### 地域資源から考える

- 地域の産業、大学、公共施設等をベースに、グリーンやデジタルといった世界的な流れに沿ったビジネスを考える。
- 新しい知識の創出**が持続可能な取組となる。